

第 5 回彦根市公共交通活性化協議会 議事録

開催日 平成 21 年 3 月 13 日（金）午後 2 時～午後 4 時

開催場所 彦根市民会館第三会議室

出席者 別紙のとおり

1. 開会

彦根市地域公共交通総合連携計画素案に対するパブリックコメント結果の報告
協議会規約第 8 条第 3 項により会議が成立していることの確認
会長が欠席のため、協議会規約第 7 条第 2 項により副会長山崎委員により議長代行

2. 議事

(1) 彦根市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書（案）について

山崎副会長

本日の議事は、彦根市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書（案）および彦根市予約型乗合タクシー路線変更・停留所追加についての 2 点でございます。まず、彦根市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書（案）についてお諮りいたします。事務局から説明をお願いします。

事務局

彦根市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書（案）を説明

山崎副会長

ただいま事務局から申請書案について説明がありました。
何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

富家氏（野坂委員代理）

乗合タクシー実証運行経費について、2 路線でこの数字ではないと思いますが、運行経費なのでしょうか。

事務局

調査費用が入っています。鳥居本と稲枝のほか、路線バスの収支状況が悪いところがあるので、バス経路等を変更したり、乗合タクシーが必要であれば入れていきたい。

山崎副会長

ダイヤ改善による路線バスの実証運行というのは、ダイヤ編成を変えてどのような効果があるのかを判断して次のプロセスを踏んでいくのか、ということですね。

野本委員

地域の方に対して綿密に調査して実需に併せた、きめ細かいものを底流の思想を持っている。お金も

いるだろう。

目標値を掲げて、きめ細かい施策を通じて前向きに近づくように、関係者全員がモチベーションをあげてやる気を出して取り組まないといけない。財政厳しい折に負担を下げるということで気合を出してほしい。私のこだわりですが、地元の河瀬南彦根線ですが、地域の範囲が広いので、マーケットインで良いシステムを作ることが目玉になるだろう。

近藤委員

連携計画を立ててきて、メニューを3年間並べているが、21年度のマップ作りは市民・学生・主婦を巻き込んで作っていかうと思っている。公共交通にどんどんシフトしたいが、高速道路の問題でマイカーシフトが始まってやるせない気持ちでいっぱいです。逆風がクルマのほうに吹いてしまったのでさらに目標が難しい。商店街の連携やモビリティマネジメントは全部同時並行でやらないと効果が相乗的に出ないの、年度のずれはあるが、予算がないなりにできる部分、商店街のタイミングで、連携計画以外の商店街が申請する新しいプロジェクトのメニューがありますので、この計画を中心にしながらも、それぞれが商店街等とどんどんやっていかないと、恐るべき目標値をどうクリアするか、少なくとも21年度は上げないといけないので、途中途中で71万人がどうなっているか、てこ入れしてやっていかないと、2月3月になってからでは足りないではどうしようもない。シナリオが決まりましたので、これに限らずやっていってこの目標値を達成していきたい。

山崎副会長

利用者の声を聞きながらというところですが、現在の主たる利用者は高齢者や障害者が多いと思います。

宮野委員

順番に進めることについてはこれでよいと思うが、稲枝のデマンドの様子、あまり利用できていない、効果的でないということも聞いている。鳥居本は路線バスがないところなので未知数です。機会があるごとに關心を持っていただけるようにしているが、關心ある人とない人の差が大きい。年齢的にまだ免許証を持っている人が多くなると減ってくるのではないかと思いつながら、PRしながら高齢者との連携を保ちながら会議に参加させていただきたい。

中村委員

障害者がクルマを使う時は自分自身で使わないと、免許証は取れるので、バスに乗るのにおっくうになりがちです。車椅子でバスに乗るまで出て行けないので、どういう風にしたらバスに乗ってもらえるかを考えながらやっていただきたい。

山崎副会長

事業者の理解がないと進まないと思うが、いかがでしょうか。

樋口委員

公共交通には今年全県的に取り組んでいる。全体計画の中で、はやりのモビリティマネジメントがある。特定居住地域へのモビリティマネジメントがあるが、利用者が少ない中で、企業の協力が盛り込ま

れていません。企業というのは従業員に対してマイカー通勤から公共交通への誘導、マップなどのコマ
ーシャルベース（広告料）企業への協力なくしてはバスの復権はないと考えている。毎週金曜日にワ
ンコインエコパスをやっているが、ぜひ企業への協力、従業員の利用促進、情報化の中で広告料を出す、
学校も含めた企業への協力を依頼したモビリティマネジメントを加えていただければ。23年度に企業向
けがありますが、すぐにやっていただきたい。決して先送りではないと思います。

山崎副会長

近江鉄道が入っているのが良いと思っている。ひこね芹川駅ができますが、開発と利用者一体的にか
んがえていく。バスだけでなく鉄道系のものを入れてもよい。

加茂委員

利用者を増やす施策で乗合タクシーということになりますが、バスに乗らないから乗合タクシーとい
う、受け皿的なものになると思うが、乗合タクシーについても費用は同じように人件費等もかかるので、
路線バスにしても乗合タクシーにしても需要喚起が一番肝心かと思いますので計画の中でもしてい
たきたい。

山崎副会長

バスとデマンドタクシーの関係は微妙だが、横軸に乗客・縦軸にコストとすると乗客が増えれば増え
るほどコストが上がる。交点があってそこまでどうやってもって行くか。たくさん乗りはじめると路線
バスのほうがいいだろうというようになっていくとよい。計画を実行しながら評価しながらやっていく
ことになる。

鳥居本は彦根から近く、デマンドタクシーに対応しやすいが、稲枝は車両が多いわけではなく彦根か
ら持ってくるのは遠い。近隣から出勤することにもなるかと思うが、どうでしょうか。

横幕委員

後三条と楡に営業所を持っています。後三条は駅でいうと彦根駅と南彦根駅、楡の営業所は河瀬駅と
稲枝駅という区分けになります。稲枝駅にわざわざ彦根駅の車両が行くということとはございません。大
きなロスはでていません。従来の車両が対応している。全体からみると稼働率は増えています。

古川氏（北川委員代理）

事業者ではバスのご利用が年々減っていったいて、路線：時間帯も減っているのが現状です。事業者
だけでは運営できないので、利用者のニーズにあった、時間帯、買い物・病院等の運行形態と利用者へ
のきめ細かな説明・分かりやすさが充分伝わると、安心して乗っていただける。

磯谷委員

何回も会議に出席しているが、今回については進歩のある内容だと思う。バスの必要な部分とそうで
ない部分をきっちりとわけて、総合的な交通体系が今回は確立されるのではないかと思う。ころころ変
えずに永続的になっていって、プラスアルファ、学校生徒や住民等のご協力の中で利用促進策が図られ
ていく施策が盛り込まれているので、私も勉強だと思っている。

山崎副会長

長いスパンで見れば元気な高齢者がクルマを運転しているが、車を運転しているとまずいということになる状況が目前にある。そこまでどうやって繋いでいくかということは大変重要だと思う。そのところは総合的に検討できているのではないかと思う。

山岡氏（井尻委員代理）

利用促進策、実証運行を進めながら改善を進めていくということでまとまっているのではないかと思う。毎年見直していくこととなりますので、今後どのようにしていくかは協議会の皆様のご努力にかかっているかと思えます。

富家氏（野坂委員代理）

計画で評価事項にはっきりとした数値目標をあげておられます。ここまではっきり数値目標を挙げているのは他の協議会ではなかったかと思う。県の補助金制度があり経費的などところになりますが、乗合タクシーを空白地域で運行されて、今後の検討課題として河瀬南彦根線の改善により今後も効率的に運用して費用面にも貢献できる体制を考えていかれるということで、期待している。

西川氏（斉内委員代理）

こういったことについてはPRをどうやっていくかが重要で難しい。これに対する力を入れていくことが重要だと思う。

高岡委員

高齢者の運転者が増え、事故発生率が高い。一時停止や信号見落としなどによる事故が目立ち、まさに突入している。公共交通を張り巡らして高齢者にご迷惑のかからない体制にしていいただくと非常に助かる。適正に合わない人の免許の返納を進めていきたいと考えている。公共交通を利用していただくのに免許返納に対する特典を設けていくなど、他府県では免許証を返納して公共交通を利用していただく公共施設の入場料割引、タクシーバス運賃の割引をしているところもあるので、協力して一緒に進めていきたい。彦根署職員は突発の事案がありますので公共交通機関を利用しての出勤は非常に難しい。

磯谷委員

当グループでは、21年度は免許証返納定期を考えており、5割の料金でご利用いただけるようになります。

大西委員

今回の事業計画は具体的な数値目標、71万人から100万人という数値目標があり、地域のみなさんでPRしていかないとこの数値たどりつけないのではないかと不安な気持ちを持っている。毎年見直しをかけることによって少しでも市民の方の理解を得ながら利用していただきやすくしていきたい。高齢社会を迎えているが、景気低迷の中でエコの気持ちがあっても利用者は利便性を重きにおいていると思う。このメンバーの口伝えなど地道な努力をしていかないと数値達成が難しいと思う。

成宮氏（中辻委員代理）

道路管理者の立場では申し上げることはないが、交通対策課が生活環境課にあったときにバス路線に関わっていた。ご意見の中にあつたように、企業等への働きかけというご意見がありますが、当時からバス路線を見直しても行政から事業所への働きかけは当時からされてこなかった。今回の計画で盛り込んでいただけたのは一つの進歩だと思う。前倒ししてでもというご意見がありましたが、全体の中で検討していただき利用効率が上がるように考えてほしい。

宮野委員

30分ヘッドで運行するのがありますが、バス停まで出てくるのに駐輪の問題がある。100メートル歩いてもしんどい人もいれば10分歩いて大丈夫な人もある。自転車でいける人もある。駐輪場をコンビニとか大きい商店とか、そのあたりをどのように考えていただけるか。

事務局

協議会でもご意見をいただいているので、これからそういうことを来年度から考えていきたい。

山崎副会長

そういった面で企業の協力をいただければと思う。

山崎副会長

それでは、公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書（案）について、ご承認の方は挙手を願います。承認の方は挙手をお願いします。

全員挙手により承認

ありがとうございました。全委員のご承認をいただきましたので、この申請書を国土交通省へ提出することといたします。

事務局

ご承認いただきありがとうございました。

補助申請期間が3月2日から3月26日までとなっておりますので、至急提出させていただきます。

(2) 彦根市予約型乗合タクシー 石寺線路線変更・停留所の追加について

山崎副会長

では次に、予約型乗合タクシー石寺線路線変更および停留所追加についてお諮りいたします。資料2をご覧ください。事務局から説明をお願いします。

事務局

(予約型乗合タクシー石寺線路線変更・停留所追加について説明)

稲枝地域運行石寺線の路線変更・停留所追加については、協議会規約第1条第2項の地域公共交通会議として審議。

【新規停留所名】 南稲部

【追加理由】

稲枝駅西側 南稲部と笹田団地の2自治会があり約300世帯800人が生活している。この地域の北側に稲枝東小学校停留所があるが遠い。平成20年10月導入にあたり稲枝東小学校区自治会長に集まっていただき説明をしたとき、世帯数の多いこの地域に停留所がない指摘があった。

市としては時期を見て設置することにしていたので、この地域公共交通会議をかねる協議会でお諮りする。

【設置場所】 南稲部第2公園。南稲部と彦富町笹田団地の両自治会長にはすでにご了解を得ている。

【料金】 石寺線で認可されている運賃表で稲枝支所・稲部・金田と同じ運賃

【経路】 市立病院から豊郷駅へ向かう便は稲枝東小学校 南稲部 林
豊郷駅から市立病院へ向かう便は林 南稲部 稲枝東小学校

【時刻】 南稲部の追加によって他の停留所への時刻の変更はない

【追加時期】 協議が調っていることの証明書を近畿運輸局へ提出し、近江タクシーから路線変更の申請をしていただき認可を受ける必要がある。認可には約1ヶ月弱かかるので、平成21年5月を予定。

山崎副会長

ただいま事務局から路線変更・停留所追加について説明がありました。何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

横幕委員

この追加路線はショートカット路線ということでよろしいでしょうか。ショートカットにしないと必ずこの路線を走らないといけません。

事務局

そうです。滋賀運輸支局様、この様式でよいでしょうか。

山岡

提出いただいた書類を見て事業者さんと調整します。

山崎副会長

この路線変更および停留所追加につきましてはこれでよろしいでしょうか。ご承認の方は挙手を願います。

全員挙手により承認

全委員のご承認をいただきましたので、道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書を運行事業者であります近江タクシー様へ交付し、申請をしていた

だくことといたします。

3. 報告

(1) 地域公共交通活性化・再生総合事業二次評価について

山崎副会長

2月24日に実施されました近畿運輸局での調査事業の二次評価について事務局から報告していただきます。

事務局

第三者評価委員会による二次評価について報告いたします。

2月24日に近畿運輸局で実施されました「地域公共交通活性化・再生総合事業」第三者評価委員会に事務局から出席させていただきました。

評価委員会には、大学教授4名、近畿運輸局管内2府4県の交通部局の部長等、近畿運輸局各部長計15名が委員になられて、計画事業・調査事業あわせて36市町村の評価を実施されました。計画に基づき事業を実施しておられる協議会の事業を中心に評価が進められ、調査事業実施の協議会については、事務局から協議会ごとの概要を簡単に説明された後、委員から全体に対してコメントをいただきました。コメントの内容として、

・事業を実施するにはきちんと交通計画を立てていることが重要である。軸足が事業実施になっている。計画策定の重要性を周知して支援をしてほしい。

・計画作りはこうだ、というのを市町に知らせてほしい。地域に関心があるのは交通に関心がある人だけとは限らない。実際に動いてくれる人に上手く入ってもらってほしい。というコメントでした。

山崎副会長

運輸支局から何かありましたらお願いします。

山岡氏（井尻委員代理）

当日の様子は、大学の知識人、近畿運輸局の各部長、各府県の交通担当部局の方が委員となり、各協議会が報告した内容についてコメントしました。当日は若干時間不足の状況になり計画事業の協議会の報告に手間取り、調査事業の説明時間が足りなくなり、近畿運輸局事務局から説明しました。大学の先生方の一般的なコメントで、計画はよく考えてしっかりしたものを作成しなければしっかりした事業は遂行できない、というものでした。

山崎副会長

我々は地域ガバナンスという言い方をしていますが、乗客だけでなく行政、これから乗る可能性のある方たちなどが、どれくらい一緒に参加して盛り上げていけるか、ガバナンスをどうすればいいかということを、言い方は違いますがそのようなことをおっしゃっているのではないかと思います。

(2) 予約型乗合タクシー利用状況・アンケート調査結果について

山崎副会長

予約型乗合タクシー利用状況・アンケート調査結果について事務局から報告をお願いします。

事務局

(資料により利用状況・アンケート調査結果の説明)

野本委員

資料 3 の P 2 で稲枝地区でよかったと思いますのが、新海浜一丁目・二丁目のご利用実数が多いですが、P 9 の自由記述意見で路線バスを延伸してほしいという要望が多かったところでした。

山崎副会長

資料 3 の P 1 の収支率 30 % はよくできている。路線バスで 10 % に満たないところもあり、30 % はみちがえるような改善です。

稲枝のほうで便数でいけるのでしょうか。

横幕委員

車で遊んでいる車両を利用いただけていることに感謝している。アンケート調査資料の P7 のサービス満足度で悪いという数字 1 が出ているので、見逃すことなく十分反省して乗務員の教育をしていきたい。約 5 ヶ月になりますが、冬場、普通の車でもパニックになりますが雪が降ったときにきちんと対応できるかどうかを心配していたが、雪が全然降らなかったのも、利用者にはご不便をおかけせずに運行できたと思う。資料 3 の P 1 の欠損金を市から頂戴していて今のところ 15 万円くらいでいけるかと思っているが、先ほどの乗合タクシーの予算で 3 年間で 2600 万円つけていただいているが、今後これだけ増えるという見込でつけていただいているのか、いかがでしょうか。

事務局

当初かなり利用があるかと思込んでいましたが、今最高で 17 万円でした。利用が増えてきてもう少し必要になってくるだろうという見込んでいます。2600 万円は調査費用等を入れてのものです。

山崎副会長

ダイヤをもう少し増やしてほしいという意見がありますが、稲枝でしたら 30 分に 1 回というのはできませんか。

横幕委員

米原市のまいちゃん号は 30 分ダイヤで運行しています。市立病院の帰りはご不便をおかけしているので 30 分間隔のほうが良いと思っています。利用が増えると欠損が増えてきますので、市の財政を見ながらさせていただきます。

事務局

料金が低いということを市議会に取り上げられます。一番高いのが 1,500 円です。5 ヶ月で 10 件です

ので、5,000 円上積みするといけそうですが、様子を見ながら 21 年度から料金面でも検討していただきたいと思います。市立病院までは 90 人が利用ですが、帰りは 33 人しかご利用になっていないので、そのあたりの便も検討してかないといけないと考えています。鳥居本では 1 地域ですが曜日指定にしているところを毎日にしてほしいという声があります。コスト削減を図っていかなければいけないので、それもふまえて来年度以降の課題として検討していただきたいと考えております。

富家氏（野坂委員代理）

資料 4 の P 7 の運賃満足度は「良い」が多く、「悪い」がありません。P 5 の「運賃が安ければ利用する」が 5 件で、少ないと思います。利用されている人には運賃は受け入れられていると資料を見る限りでは思いますので、高いという意見があるというところをもう少し教えていただきたい。

事務局

このアンケートは登録している世帯を対象にしています。意見としては、議会や電話等では料金が高いという意見をいただいています。他に事例にない料金になっているのでそういうご意見になっていると思いますので、検討課題に挙げさせていただきます。

富家氏（野坂委員代理）

受け入れられているのであれば、それに越したことはないと思いました。

山崎副会長

米原や長浜は 300 円でしたね。

近藤委員

ご意見の中に 3 人以上乗ったら安くならないかというのがあります。料金割引は難しいかもしれないので、3 人乗り合わせたら収支的に良いので、3 人乗り合わせたら割引か特典があたるようなゲーム性を持たせることをやってもよいのではないかと。ちょっとぐらい補てんしても良いと思う。そういう工夫をしても良いと思います。

山崎副会長

いろんなアイデアを出していただきたいし、協議会でアイデアを出しても良いですね。

それでは、これもちまして第 5 回彦根市公共交通活性化協議会を終了させていただきます。皆様、大変長時間にわたりご協議いただきありがとうございました。

4 . 閉会

彦根市公共交通活性化協議会委員名簿

	団体等	職名	氏名	出欠
1	彦根市	彦根市副市長	松田 一義	欠席
2	滋賀県	交通政策課長	野坂 尚宏	出席 (代理)
3	近畿運輸局滋賀運輸支局	首席運輸企画専門官	井尻 憲司	出席
4	一般旅客自動車運送事業者 およびその組織する団体	湖国バス(株) 営業課 課長	磯谷 淳	出席
		彦根観光バス(株) 代表取締役	大西 和弥	出席
		彦根近江タクシー(株) 代表取締役	横幕 信一郎	出席
		滋賀県バス協会 専務理事	樋口 俊助	出席
		滋賀県タクシー協会 専務理事	加茂 学	出席
5	一般旅客自動車運送事業者 の事業用自動車の運転者が 組織する団体	私鉄滋賀県協議会 事務局長	北川 忠夫	出席 (代理)
6	滋賀県彦根警察署	交通課長	・岡 和司	出席
7	学識経験者	滋賀大学教授	山崎 一眞	出席
		滋賀県立大学准教授	近藤 隆二郎	出席
		聖泉大学教授	野本 茂	出席
8	住民または利用者	彦根市身体障害者更生会 副会長	中村 裕次	出席
		彦根市老人クラブ連合会 会長	宮野 武男	出席
9	道路管理者	湖東地域振興局建設管理部管理調 整課長	斉内 正俊	出席 (代理)
		彦根市都市建設部長	中辻 源壽	出席 (代理)